

## 府内酪農家で暑熱対策を実施しました

35℃を超える異常な暑さが続く昨今、畜産農家にとって暑熱対策は大きな課題となっています。

当センターでは、今年度、暑熱対策の専門チームである「暑熱対策班」を立ち上げ、畜舎の環境測定に基づいた指導や提案を行っています。

今回、亀岡市の酪農家において環境調査を行ったところ、屋根からの放射熱が牛舎内温度の上昇の原因と判明したことから、牛舎屋根に遮熱効果のあるドロマイト石灰※の塗布を行いました。

施工後の放射温度は「塗布なし」では53℃、「塗布あり」では36℃となり、17℃もの温度の低下が確認できました。

今後も地球温暖化に伴う気温の上昇が予測されますが、各々農家に適した暑熱対策を提案していきます。



ドロマイト石灰塗布の様子

※ドロマイト石灰：粒子が細かく、付着性がよく、水に溶かしても発熱せず、金属を腐食させにくい石灰

畜産センター